



河北町立西里小学校学校便り

発行：校長 須藤里佳

令和5年4月30日

nishizato



令和5年度 88人でチーム西里スタート！

4月8日（土）の入学式で、10名の新入生を迎え、全校児童88人となった西里小学校です。未広がり这个数字で、すばらしい年になりそうな予感がします。

【始業式より】

校長○ さて、昨年度、西里小学校で大事にした言葉、キーワードは何？

児童● 「**自分ごと**」「**自分から**」（子どもたちは、しっかり言えました。）

校長○ すごいね！ しっかり言えるということは、みんながんばったんだね。

君たちは賢いので今年は3つ。3つ目に「**仲間と**」を付け加えます。

「自分ごと」「自分から」「仲間と」です。覚えた？

児童● （大きく うなづく）



「自分ごと」とは…

学習はもちろん、常に「自分だったらどうしよう」「自分はこうなりたい」と言うように、いつも「他人ごと」ではなく「自分のこと」として考えて取り組みます。

「自分から」とは…

よいと思ったことは、自分から進んでやります。失敗してもかまいません。失敗はよい勉強です。思い切って挑戦してみます。

「仲間と」とは…

仲間を大事にします。自分とは違う個性の仲間がいるからこそ、自分の考えが広がったり、できることが増えたりします。仲間と共に伸びていきましょう。

校長○ このキーワードを大事に、自分で考えて自分で決めて行動する力をつけ、仲間と力を合わせて、よりよい学校生活を みなさんが創ってください。



学校教育目標 「心豊かに たくましく 社会を生きる 子どもの育成」

目指す子ども像

やさしく	自他を尊重し、思いやりのある子ども
かしこく	主体的に学び続ける子ども
たくましく	たくましい体と心をもつ子ども

自然災害、ウクライナ侵攻などからも考えさせられるように、これからの世の中は予測が付きません。子ども達の進む未来は、さらに「予測困難な時代」です。「どんな社会になっても幸せに生きてほしい。」「どんな困難にぶつかろうとも、たくましく生きてほしい。」という切実な願いが学校目標となっています。子ども達にその生きる力を育むために、どうぞ、ご家庭、また地域の力をお貸しください。「子どもの育ちを真ん中に」教職員一同こころ一つにして励んで行きます。

令和5年度 職員紹介

担任外



子どもが
安心して学べる
学校にします！

まえ列
(教頭) (校長) (教務)
川越雅彦 須藤里佳 矢萩由勝

うしろ列

(主事) (養護教諭) (学習生活指導補助員) (業務員) ※(給食配膳員)
安食由美子 高橋春奈 有路律子 富樫美鈴 村岡巧一 榊谷衣里子



子どもと共に
学びを楽しんでいきます！

まえ列
(1年) (2年) (3年)
牧野亜希子 大泉晃子 白林理香

よろしく
お願いします！

学級担任



うしろ列
(4年) (5年) (6年) (里の子)
杉澤千佳 樋口智一 阿部健太 兼子かおる

感謝！

河北町交通指導員の方々より、新入生に、交通安全祈願の鉛筆と消しゴムをいただきました。交通指導員の庄司和義さん、安達智勇さん、今年度もよろしくお願ひいたします。